

皆様こんにちは。あそーとの石原です。年4回発行でやっていこうと思っていましたが、作業時間と記事数と紙面サイズを考えると毎月発行でもいけるのでは、と感じ始めました。ひとまず2ヶ月連続発行です。巻頭コラムは個人的な話をします。昨年末から任天堂 Switch のスプラトゥーン3というゲームを連日連夜やっています。基本的には色を塗りあう4vs4の陣取りゲームなのですが、それに加えて、オブジェクトを目的地まで運ぶという要素があります。これがめちゃくちゃおもしろい。戦術がものを言うゲームなんですよ。キャラのコントロールがどれだけうまくてもそれだけでは勝てない。ゲームの目的から逆算して、敵を倒す、盤面を整理する、ブキの特徴を活かした役割分担、ステージを最大限活かす陣取り、それと並行して敵チームの行動に反応していきます。3ヶ月で150時間ほどプレイしていますが、全然うまくなりません。全然うまくなならないからずっと楽しめます。このうまくなるために、調べて考えてやっていく作業が僕はたまらなく好きなんですよ。たぶんですが、うまくなったら飽きてやめます。



## あそーと事業紹介

### 高校内居場所カフェ事業 その2



カフェでは手作りのおやつや自家焙煎の珈琲なども準備しています。「これ食べたことある、飲んだことある」「美味しいよね」は人と繋がるきっかけになります。飲食だけでなく「この曲きいたことある、これで遊んだことある」なども人と人を繋げます。文化というと大げさかもしれませんが、ある高校生はオセロやUNOのルールを知らませんでした。高校3年生になって初めてルールを知ったことで、他の生徒と同じ時間をすごすことができました。

子どもの貧困を考えるとときに金銭的な貧困へのアプローチはもちろん必要ですが、同時に文化的な貧困へのアプローチも必要であると思います。

居場所カフェ ボランティアさん  
募集しています。詳しくはコチラ👉



文化的な持ち手(体験)が多いと、参加の機会にも繋がっていきます。自分が知らないことが溢れている場所には参加することが難しいですが、自分が知っている・やったことがあることの貯めがあれば、色々な場所や機会への参加の敷居は下がります。社会関係資本は参加しないことには得ることができません。参加が社会関係資本の獲得に繋がります。また、いろいろな大人の価値観に触れることも一つの文化体験です。人をけなすことが親密性の確認になるような文化圏もあれば、褒め合うことが親密性の確認になるような文化圏もあります。今自身が身を置いている環境の価値観が全世界共通の価値観ではないという実感は、毎日うんざりしている高校生のホッとできる時間に繋がると考えています。このいろいろな大人の価値観に触れる機会をつくるために、居場所カフェではボランティアさんに参加をしてもらい、高校生との時間を過ごしてもらっています。



## OB カフェ実施報告

### R4 年度 4 回目の学校 ”外” 居場所カフェを実施

学校外居場所カフェとは高校の OB を対象にした居場所カフェで、当法人事務所 1F の book and cafe cocoaru のスペースを利用して開催しています。学校内の居場所カフェと同様で、この時間は OPEN しているからいつでもどうぞ、のスタイルです。3 月のカフェには 3 名の OB が参加してくれました。特に何をやるわけでもなく、スマホゲームをしたり UNO をしたりただお喋りをしたり。それぞれフラッとやってきて、フラッと帰っていきます。このカフェの目的は弱いつながりの継続です。困難さを複雑にしていけないためには、“ちょっと困ったぞ” くらいのときに援助希求をすることが必要です。「ちょっとこれこれで困ってるんやけど、どうしょ?」です。ただ “ちょっと困ったぞ” では支援機関に相談するのは難しいんですよね。皆さんも “ちょっと困ったぞ” が起きたときに相談するのは、支援機関ではなくて身近で信頼できる人ではないでしょうか。しかし、この身近で信頼できる人がいないとどうでしょう。ちょっと困ったぞが気が付けばだいぶ困ったぞになっていて、最後にはどうしようもないぞ、になっていきます。高校 “内” 居場所カフェで出会い 3 年間のあいだに身近で信頼できる人になり、高校 “外” 居場所カフェで弱いつながりを継続することで、援助希求の敷居を下げます。援助希求のできなさを自己責任にしないようにしていきたいですね。



## チャリティバザー実施報告

3 月 24 日～25 日の二日間、ココアルで子ども用品チャリティーマーケットイベントを開催しました。2 週間前から店頭や SNS にて不要な子ども用品を募集したところ、たくさんの寄付を頂きました。皆様ありがとうございました。当日は快晴、といきたいところでしたが、あいにくの曇り空そして下り坂の天気模様。にも関わらず、たくさんのご近所さんがココアルを覗いてくれました。中にはお店番までしてくれるお子さんも。お客さんの呼び込みありがとう。お疲れ様でした。次回の開催を待っています、とい

う嬉しいお言葉ももらえ、初の試みとしては上々の結果だったのでは思います。なによりも、地域の方々との交流の機会となったことを嬉しく思います。ありがとうございました。次回の開催をお待ちください。



## 自家焙煎珈琲のご紹介

### 「ココアル応援！ドリップバッグ定期便」

美味しいコーヒーをお楽しみいただきながら、ココアルを応援していただけるドリップバッグ珈琲のお得なサブスク（定期購入）です！

- 商品内容 ・ドリップバッグ珈琲 10 個セット / 月額 990 円 (税込)
- ・人気のお味(ブレンド, ディープ) 各 5 個ずつ
- ・毎月「20 日頃」に発送いたします (送料無料)

詳しくは  
コチラマ



または

【BASE ココアル】で検索



ご不要になった本を寄付して下さる方は下記までご連絡下さい。お近くでしたらお引き取りにお伺いすることも可能です。詳しくは左 QR コード、またはココアル HP をご覧ください。

発行元: NPO 法人あそと TEL06-6932-2700 メール cocoaru@npo-assort.com

